

学校による博物館利用のご案内

釧路市立博物館では、授業で役立てていただけるよう、みなさんをお待ちしてしております。もの（実物資料）・情報（図鑑・文献等）・人（学芸員）を上手に使ってみてはいかがでしょうか？

1. 博物館における学習

(1) 学習方法

- ① 展示室を見学する
- ② 決められたテーマについて調べる
- ③ 図鑑等の資料を利用する
- ④ 資料を使って体験学習をする
- ⑤ 学芸員の話聞く

なお、①～④についても、学芸員は対応いたします。

(2) 学習場所

名 称	最大収容人数
常設展示室	200 名
講堂	座席・テーブル付き 80 名 座席のみ 110 名
市民研究室	6 名
会議室	20 名
埋蔵文化財調査センター展示室	30 名

(3) 学芸員の担当

地形・地質
魚類
鳥獣
昆虫
歴史

石炭・林業などの産業、水質

※併設する埋蔵文化財調査センターには、考古担当の学芸員がいます。

(4) これまで対応しているテーマ等

* 釧路湿原 成り立ち、生物(昆虫、魚類、鳥類、植物、ほ乳類)、化石、わき水、開発と保護など

* 春採湖の自然と歴史

* 釧路の産業 石炭・林業(製紙)ほか各産業

* 大昔の人々の暮らし

* 明治時代以降の暮らし

* アイヌの人々の暮らし

【個別テーマ】

*イトウ、マンモス、ヒブナ、スズメバチ、タンチョウ、クシロムカシバク、
鳥取からの移住者 など

なお、分野として植物・アイヌ民族につきましては直接担当の学芸員はおりませんが、対応は可能です。

2. 館外における学習

(1) 学習方法

- ①春採湖畔や学校周辺などの野外での自然観察会（調べ学習も含む）やまちなみを巡る探訪会
- ②昆虫などの標本作り
- ③資料（主に生活用具）を使って体験学習をする
- ④学芸員の話聞く
- ②以降は学校内での学習（出前授業）

(2) 貸出可能な資料

- ①生活に関わる資料 防寒具、戦時生活用具（防空頭巾など）、炭を使った道具（せんべい焼の型）
- ②各種写真パネル

3. 事前の打ち合わせ

博物館内または館外とも、利用するにあたっては、まずは博物館までご連絡下さい。そこで利用の目的・意図を確認させていただくとともに、利用方法につきまして打合せさせていただきます。可能な限り、ご希望に添う形で対応いたします。